平成 30 年度～令和 4 年度ＨＩＶ感染および性感染症の予防対策（計画）

目的　　ＨＩＶ及び性感染症の新規感染を減少させる

成果指標及び目標値

１　HIV 抗体検査数の増加

（現状）平成 30 年：1,197 件　⇒（目標）令和 4 年：1,780 件

２　性器クラミジア感染症報告数の減少

（現状）平成 30 年：450 件　⇒（目標）令和 4 年：324 件

３　梅毒報告数の減少（新規）

（現状）平成 30 年：90 件　⇒（目標）令和 4 年：10 件

１，２については、前５年間から引続き、成果指標とした。

３については、市内の報告数が急増していることから、平成 30 年度から新しく成果指標とした。

取組み方針

①普及啓発：広く市民に対し、知識と意識の向上を図り、検査体制の周知を行う。

②検査体制の整備：市民にとって利便性の高い検査体制を構築する。また、特に感染リスクが高いと考えられる層（青少年、ＭＳＭ※、性風俗産業従事者利用者等）が利用しやすい体制とする。

※ＭＳＭ：男性間で性行為を行う者をいう。以下、同じ。

施策（実施内容）

①正しい知識の普及啓発

〔一般〕

・ホームページ、ラジオ、市政だより等での広報
・働く世代への出前講座の実施
・街頭キャンペーンの実施
・啓発物の配布（ポスター、チラシ、パンフレットなど）
・一般の医療機関への情報提供を強化

〔青少年〕

・出前講座、講師派遣事業の実施
・大学生ボランティア等との協働により、高校・大学で啓発キャンペーンを実施
・青少年向け啓発物の作成・配布

〔ＭＳＭ〕

・ＭＳＭ当事者グループとの連絡会、勉強会等の実施
・ゲイバー等ゲイコミュニティへの啓発物の配布、情報発信
・ＭＳＭ当事者に配慮した情報の発信方法の検討、実施

〔性風俗産業従事者利用者〕

・情報収集、検査利用者への情報提供

・店舗型性風俗特殊営業所の責任者等へパンフレット配布、検査の情報提供

②相談検査体制の整備

・平日昼間の即日検査、通常検査を継続実施

・休日検査、夜間検査について、より効果的な体制を検討

・予約不要の即日検査の実施

・メール予約受付体制の充実

熊本市エイズ対策事業　令和元年度報告・令和２年度計画

※令和２年度はコロナ禍で新しい生活様式を見据えた対策を検討していく

１　正しい知識の普及啓発（表中の★：新規または重点事項）

施策層	令和元年度報告	令和２年度計画
青少年	**【教育関係】** **●高校・専門学校への講師派遣事業** ※泌尿器科医、産婦人科医の専門医等を派遣 ・周知４月 ・8回実施　2,874人（高校5校、専門3校） **●出前講座（性感染症予防講座）** ※感染症対策課職員が実施 ・周知４月、９月 ・13回実施　1,606人(中学13校) ・出前講座事前・事後アンケートによる講話内容理解度の把握 **★健康教育課との取り組み** ・出前講座の前後で校内にパネルを展示 **【啓発活動】** **●イベントでのキャンペーン** 令和元年12月「健康教室」～あなたの夢をかなえる　からだの楽校（がっこう）～ **●ピアエデュケーターとの協働** 熊本大学保健学科、養護教諭養成過程学生 熊本大学ピアカウンセリンググループ「くまぴあ」 **【啓発物作成・配布・貸出し】** **●中学生向けオリジナルパンフレット** 改訂、出前講座時に配布 **●啓発物配布** キャンペーン、研修会、見学実習など **●パンフレット提供**（購入分） 各団体、学校、医療機関、事業者等へ配布 **●教育用ＤＶＤ貸出し** 児童相談所、中学校等	**【教育関係】** **●出前講座（性感染症予防講座）** ★新しい生活様式を踏まえた実施方法の検討（オリジナルDVD作製、オンライン講座等） ・講座事前・事後アンケートによる講話内容理解度の把握 **●健康教育課との取り組み** ・中学校、高校等へのパネル貸し出し、展示依頼 **【啓発活動】** ★新しい生活様式を踏まえて、以下について実施方法や内容を検討 ・高校、大学への啓発 ・ピアエデュケーターとの協働 ・巡回パネル展 ・その他 **【啓発物作成・配布・貸出し】** **●中学生向けオリジナルパンフレット** 講座時や、各学校での性教育授業のタイミングに合わせて配布 **●啓発物配布**　（キャンペーン時など） **●パンフレット提供**（購入分） ・各団体、学校、医療機関、事業者等へ配布 **●教育用ＤＶＤ貸出し** ・教育用DVD（既製品）のみでなく、熊本市でのエイズや性感染症の報告状況等を盛り込んだ、オリジナルDVDの作製・貸出しを検討
施策層	令和元年度報告	令和２年度計画
ＭＳＭ（男性間で性行為を行う者をいう。以下同じ。）	**【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※2との協働】** **●HIV検査普及啓発** Safety BlanketよりSNSにて特例検査等の周知 **●担当者打ち合わせ（随時）** 情報交換や打ち合わせを継続実施 **●講演会の開催** LGBT支援団体「くまにじ」と共催	**【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※2との協働】** **●連絡会** ★オンライン会議形式や、照会回答形式等の手段も考慮に入れ、以下の実施方法を検討 ・拡大会（関係者による活動状況についての意見交換）Safety Blanket、熊本大学医学部附属病院エイズ診療従事者、熊本県、熊本市

	●ゲイコミュニティでの啓発物配布　随時 ・コンドームやチラシをゲイバーやゲイクラブイベントで配布 **●ホームページへのリンク** 本市エイズ検査相談のページに Safety Blanket のホームページをリンク（継続） **【その他】** ●相談室にパンフレット及び Safety Blanket ステッカー添付コンドームを陳列（持ち帰り自由） ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集 ●相談室・待合室にＬＧＢＴ関連冊子（閲覧用）を設置 ●ホームページの HIV 検査案内記事へ、関連情報とともに、ゲイ・バイセクシャル男性向け情報も掲載	・その他具体的な活動案等について意見交換、情報交換、打ち合わせ **●ゲイコミュニティでの啓発物配布** **★啓発物作製** **●ホームページへのリンク** 本市エイズ検査相談のページに Safety Blanket のホームページをリンク（継続） **【その他】** ●相談室にパンフレット及び Safety Blanket ステッカー添付コンドームを陳列（持ち帰り自由） ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集 ●相談室・待合室にＬＧＢＴ関連冊子（閲覧用）を設置 ●ホームページの HIV 検査案内記事へ、関連情報とともに、ゲイ・バイセクシャル男性向け情報も掲載
外国人	●外国人受検者向け検査前説明プリント及び結果説明プリントの作成、活用 ●外国語パンフレット配布 ●市ホームページ掲載（英語版）	●外国語パンフレット陳列、配布 ●市ホームページ（英語版） ●外国人受検者向け検査前説明プリント及び結果説明プリントの作成、活用
性風俗産業従事者利用者	●検査相談利用時に個別に情報提供	●検査相談利用時に個別に情報提供
薬物乱用者	●情報収集	●情報収集
市民	**【マスコミ】** ●広報：ラジオ 4 回実施 ●市政だより：2 回（6 月、12 月） ★取材対応：テレビ 3 回、広報誌 1 回 **【啓発物作成・配布】** ●ＨＩＶ検査案内チラシ・カードの作製・配布　　随時 ●エイズ予防啓発ポスター ・ＨＩＶ検査普及週間･エイズデー啓発ポスターによる啓発 ・特例検査広報ポスターの掲示・送付 ●ウェルパルくまもと 1 階ロビーに啓発パンフレットを配置（常時） ●ウェルパルくまもと 1 階ウインドウに特大ポスター掲示（随時更新） ●保健所、区役所でのパンフレット・啓発物配布（必要時） ●ＨＩＶ検査広報ステッカー掲示 ・本庁舎トイレ、ウェルパルくまもとトイレ、市電・バス車内への掲示（継続） ・事業所、学校等への提供　　随時	**【出前講座等】** ●出前講座 ★新しい生活様式に即した実施方法の検討（オリジナル DVD 作製、オンライン講座等） **【マスコミ】** ●広報：ラジオ ●市政だより ●取材対応　随時 **【啓発物作成・配布】** ●ＨＩＶ検査案内チラシ・カードの作製・配布 ●エイズ予防啓発ポスター ・HIV 検査普及週間･エイズデー啓発ポスターによる啓発 ●ウェルパルくまもと 1 階ロビーに啓発パンフレットを配置（常時） ●ウェルパルくまもと 1 階ウインドウに特大ポスター掲示（随時更新） ●保健所、区役所でのパンフレット・啓発物配布

市民	●産婦人科、泌尿器科等への性感染症パンフレット、チラシ送付 **【イベント】** **★講演会「セクマイ当事者も支援者も知っておきたいお金や制度の活用方法～にじ色ライフプランニング入門～」** ・11/26（土）Safety Blanket、くまにじと合同で、講演会を実施 **★学校保健会主催イベント「からだの楽校」での啓発キャンペーン** ・12/1(日)　熊本市学校保健会（健康教育課）主催イベントにて、小学生及び保護者向けのキャンペーンを実施。学生ボランティア「くまぴあ」から 4 人が参加。 ・(内容）ブースでの啓発（エイズクイズ、パネル展示)、レッドリボンのリース作り **★巡回パネル展「HIV×（日常）×わたし。」**※1 ・ウェルパルくまもと 1 階玄関ホール（6 月、12 月） ・エイズ相談室周辺（常設展示） **【ホームページ】** ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新 ●アクセス数（件） 「熊本市 HIV（エイズ）検査相談※3」 31 年 16,896 件（月あたり約 1,408 件） 「メール予約について」 31 年 2,860 件（月あたり約 238 件）	●ＨＩＶ検査広報ステッカー掲示 ・本庁舎トイレ、ウェルパルくまもとトイレ、市電・バス車内への掲示（継続） ・事業所、学校等への提供 ●性感染症予防パンフレット、チラシ、コンドーム配布 **【イベント】** ★新しい生活様式を踏まえた実施方法の検討 ●巡回パネル展「HIV×（日常）×わたし。」※1 ・市主催のエイズ啓発イベント等で展示 ・ウェルパルくまもと玄関ホール ・市立図書館 ・エイズ相談室周辺（常設展示） ・関係機関等への貸し出し **【ホームページ】** ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新

※1　パネル展「ＨＩＶ×（日常）×わたし。」：熊本の学生、社会人、医療関係者等に行ったエイズに関するインタビューの内容と写真をパネルにしたもの。26 年度の街頭キャンペーンにあわせて作製した。27 年度以降、高校、専門学校、その他一般施設等で巡回展示を行っている。

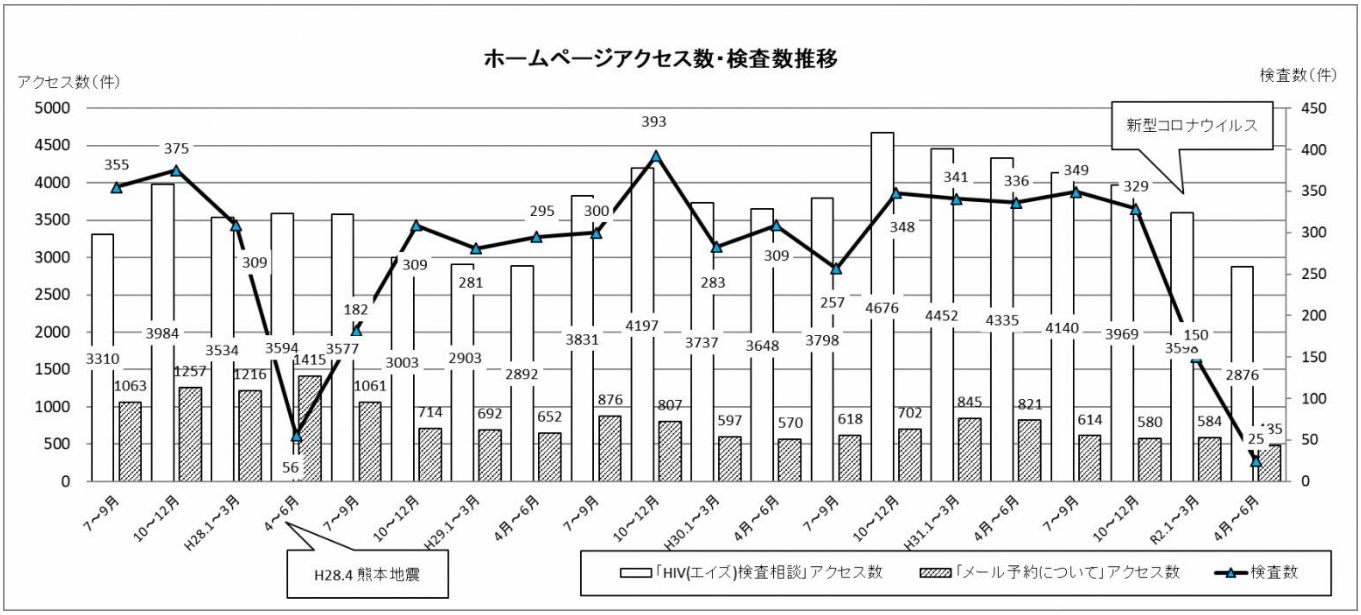
※2　Safety Blanket（旧称「KK」平成 28 年 2 月に改名）：平成 25 年 12 月に結成された熊本のゲイ当事者によるサークル。20～30 代の学生、社会人で構成。26 年 9 月から熊本市と協働してエイズ啓発活動等を行っている。

※3　熊本市ホームページ内「HIV（エイズ）検査のお知らせ」（スマートフォン対応）

http://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=3355&class_set_id=2&class_id=1975

（スマートフォン用 QR コード⇒）

【参考】ホームページアクセス数・検査数推移



２　相談検査体制の充実

	令和元年度報告	令和２年度計画
窓口の拡大	●エイズ相談検査体制 ・通常検査（予約制） 月～金曜日　9：00～11：00 ・即日検査（予約制） 月～金曜日　13：00～15：00 ・夜間・休日検査（即日検査） 特例検査、臨時検査として３回実施（日程を同ページ下に記載） ※無料・匿名 ※相談室、待合室は個室対応（特例検査・臨時検査を除く） ※希望者は、クラミジア抗体検査、梅毒検査を同時受検可能 **・メール予約受付** 平日午後（13：00～15：00）の即日検査及び予約制の臨時検査を対象に、メールでの予約を受付 **・受検者アンケートの実施** 受検者へアンケートを実施（任意回答、アンケートボックスにて個人を特定せず回収）	●エイズ相談検査体制 ★新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮して可能な範囲で実施 ・即日検査（予約制） 火～木曜日　9：00～11：00 ・夜間・休日検査（即日検査） 新型コロナウイルスの発生状況を考慮して検討 ※実施済 6/7（日）14：00～15：00（予約制） ※無料・匿名 ※相談室、待合室は個室対応（特例検査・臨時検査を除く） ※希望者は、梅毒検査を同時受検可能 **・メール予約受付** 聴覚障害のある方に限り、メールでの予約を受付 **・受検者アンケートの実施** 受検者へアンケートを実施（任意回答、アンケートボックスにて個人を特定せず回収）

	■31 年実績（件） ・相談数 1,373　検査数 1,355 即日〔再掲〕相談 1,097　検査 1,097 日曜〔再掲〕相談　204　　検査　204 ・ｸﾗﾐｼﾞｱ抗体検査 1,245、梅毒検査 1,268 ・メール予約問合せ数　278 予約成立数〔再掲〕178 （平日の即日検査 893 件の 19.9%） ○夜間・休日検査実施状況（件数再掲） ①6/16（日)14：00～15：00（予約不要） 受検者 59 人 ②9/29（日）14：00～15：00（予約不要） 受検者 32 人 ③12/15（日）14：00～15：00（予約不要） 受検者 52 人 ※令和元年 9 月は台風の影響で受検者が少なかった。また、令和 2 年 3 月は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	
相談業務の充実	**【研修】** ●「ＨＩＶ／エイズ基礎研修（大阪)」エイズ予防財団　7/12（1 日間）1 名 ●「平成 31 年度エイズ対策研修」 国立保健医療科学院 9/17～20（4 日間）1 名 ●「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」 国立病院機構九州医療センター 10/18（1 日間）1 名 **【その他】** ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 ・熊本のＬＧＢＴ支援団体等の紹介パネルやパンフレットを設置	**【研修】** **※以下の出張は**新型コロナウイルス感染症の影響で中止見込み ・「HIV/エイズエイズ基礎研修（大阪)」エイズ予防財団　※中止 ・「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」 国立病院機構九州医療センター 10 月（1 日間）1 名 ・「エイズ対策研修」国立保健医療科学院 9 月（4 日間）1 名 **【その他】** ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 ・熊本のＬＧＢＴ支援団体等の紹介パネルやパンフレットを設置

○HIV 検査普及週間　6／1～7　　○世界エイズデー　12／1

３　その他

（１）医療体制および生活支援体制

	令和元年度報告	令和２年度計画
医療体制	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●感染者・医療担当者との情報交換 ・6/5　2019 年度ＨＩＶ診療医師情報網支援事業「熊本県エイズ診療ネットワーク」に関する打ち合わせ会参加・熊本市の取組み紹介・意見交換 ★一般の医療機関（泌尿器科、産婦人科、皮膚科）へエイズ・性感染症に関する情報を提供	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●一般の医療機関（泌尿器科、産婦人科、皮膚科）へエイズ・性感染症に関する情報を提供
生活支援体制・福祉制度	●必要時、ホームヘルパー等に HIV に対する正しい情報を提供 ※福祉制度：身体障害者手帳及び更生医療による医療費助成・福祉サービス（申請窓口：障がい保健福祉課）	●必要時、ホームヘルパー等に HIV に対する正しい情報を提供 ※福祉制度：身体障害者手帳、更生医療による医療費助成・福祉サービス（申請窓口：障がい保健福祉課）

（２）推進体制の整備

	令和元年度報告	令和２年度計画
熊本市エイズ総合対策推進会議	●8 月に開催 ●翌 4 月に報告書作成 ●エイズ対策の目標値（指標）の実動計画､実施	※新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮して会議の実施について検討 ●3 月に報告書作成 ●エイズ対策の目標値（指標）の実動計画､実施
NGO とのパートナーシップ推進	●ボランティア団体との協働（情報交換・研修等）	●ボランティア団体との協働（情報交換・研修等）について、新型コロナウイルス感染症の発生状況を考慮して検討